



2026 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 ソースネクスト株式会社
代 表 者 代表取締役社長 兼 CEO 松田 憲幸
(コード番号 4344 東証プライム)
問合せ先 取 締 役 兼 C F O 青山 文彦
電話番号 0 3 - 5 7 9 7 - 7 1 6 5

連結子会社であるポケットーク株式会社の 連結業績における単月営業利益黒字化達成に関するお知らせ

ソースネクスト株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:松田 憲幸)は、当社の連結子会社であるポケットーク株式会社(本社:東京都中央区、取締役 代表執行役社長 兼 CEO:松田 憲幸。以下、ポケットーク社)の連結業績において、2026 年9月度に営業利益黒字化を達成いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1.概要

ポケットーク社は 2026 年6月以降、海外事業において収益性を重視した事業運営体制への転換を進めてまいりました。今回の黒字化は、これらの取り組みにより、当社孫会社である POCKETALK Inc.(本社:米国カリフォルニア州、CEO:松田 憲幸。以下、米国法人)及びPOCKETALK B.V.(本社:オランダ、CEO:田岡通子。以下、欧州法人)の収益が大幅に改善したことに加え、成長事業として注力している AI 同時通訳「ポケットーク - Sentio」シリーズが、日本及び海外市場で拡大したことや同シリーズ製品の利益率が向上したことによるものです。

2.黒字化の背景

(1)海外事業の収益改善

米国法人では、事業運営体制の見直しによる固定費の適正化に加え、販売先となる市場の拡大が収益基盤の強化に繋がっております。これまで米国事業の売上は教育分野が中心でしたが、現在では医療及び公共分野での導入も拡大し、3分野がそれぞれ売上を支える構成へと変化いたしました。特定の市場に依存する構造から、複数の市場で継続的な需要を獲得する構造へと移行することで、より安定した収益基盤の構築が進んでおります。これらの結果、2026 年9月度の米国法人の営業利益率は、過去最高となる 31.8%となりました。

欧州法人では、販売体制の効率化や、医療・福祉分野を中心とした法人需要の拡大を背景に、5か月連続で単月の営業黒字を達成するなど、安定した収益性を維持しております。2026 年9月度の営業利益率は 26.7%となりました。

なお、2026 年 12 月期第3四半期(2026 年7月～9月)の営業利益は、前年同期と比べて米国法人で1億 51 百万円、欧州法人で 56 百万円、両法人合計で2億7百万円改善しております。

(2)「ポケットーク - Sentio」シリーズの事業拡大

成長事業として注力している AI 同時通訳「ポケットーク - Sentio」シリーズは、日本及び海外市場の双方で事業が拡大しております。特に、教育現場における多言語コミュニケーションを支援する「Sentio - ポケットーク for スクール」と、国際会議や学会をはじめ各種イベントで活用できる「Sentio - カンファレンス」の需要が伸びております。「ポケットーク - Sentio」シリーズは、安定的かつ継続的な収益が見込める製品で、同シリーズ全体の利益率が大幅に向上したことも、今回の業績改善を支える要因となりました。

ポケットーク株式会社は「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、お互いが母国語のまま対話でき、深くわかり合える世界の実現を目指して、「ポケットーク」シリーズの提供を世界中に広げてきました。今後も、世界中で広がる多言語対応ニーズに応えながら、各地域の特性に応じた事業展開を推進してまいります。

以上